

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

解答はこの線より上の部分に書いてはいけません。

(1) (50点) 点 $(a, 0)$ を通り, 曲線 $y = e^{-x} - e^{-2x}$ に接する直線が ……

(1) の採点

$$y = e^{-x} - e^{-2x} \quad \text{より} \quad y' = -e^{-x} + 2e^{-2x}$$

点 $(t, e^{-t} - e^{-2t})$ における接線は

$$y = (-e^{-t} + 2e^{-2t})(x - t) + e^{-t} - e^{-2t}$$

$$(a, 0) \text{ を通る条件より, } 0 = (-e^{-t} + 2e^{-2t})(a - t) + e^{-t} - e^{-2t}$$

$$a = t + \frac{e^t - 1}{e^t - 2}$$

これを t に関する方程式 t が存在するような a の値の範囲を求めたい。

$$g(t) = t + \frac{e^t - 1}{e^t - 2} \quad \text{と} \quad g'(t) = \frac{(e^t - 1)(e^t - 4)}{(e^t - 2)^2}$$

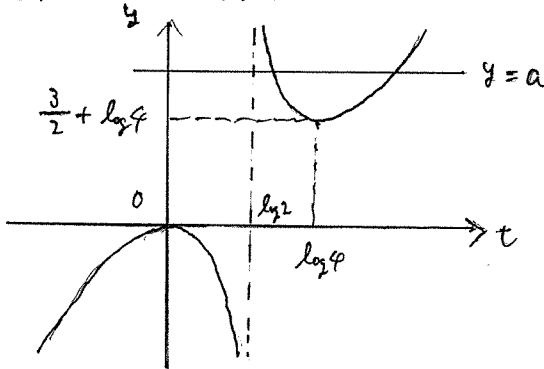
t	0		$\log 2$		$\log 4$		
$g(t)$	+	0	-		-	0	+
$g'(t)$	\nearrow	0	\searrow		\searrow	$\frac{3}{2} + \log 4$	\nearrow

$$\lim_{t \rightarrow +\infty} g(t) = \lim_{t \rightarrow +\infty} \left(t + \frac{1 - \frac{1}{e^t}}{1 - \frac{2}{e^t}} \right) = \infty$$

$$\lim_{t \rightarrow \log 2 - 0} g(t) = -\infty$$

$$\lim_{t \rightarrow -\infty} g(t) = \lim_{t \rightarrow -\infty} \left(t + \frac{e^t - 1}{e^t - 2} \right) = -\infty$$

$$\lim_{t \rightarrow \log 2 + 0} g(t) = +\infty$$



したがって

求める a の範囲は

$$a \geq 0, \quad \frac{3}{2} + \log 4 \leq a \quad \dots \quad \left(\frac{7}{6}\right)$$

採点

--

解答紙

(5枚のうち2枚目)

解答はこの線より上の部分に書いてはいけません。

(2) (50点) a, b, c, dを整数とし, iを虚数単位とする。……

(2)の採点

(1) f(x) が x^2 - x + 1 で割り切れることに伴い

f(x) = (x^2 - x + 1) { x^2 + (a+1)x + a+b } + (b+c-1)x + d - a - b.

x = (1 + sqrt(3)i) / 2 のとき, x^2 - x + 1 = 0 となり

f((1 + sqrt(3)i) / 2) = (b+c-1) * (1 + sqrt(3)i) / 2 + d - a - b.

ここで, b+c-1 ≠ 0 と仮定すると, f((1 + sqrt(3)i) / 2) = 0 となり

(1 + sqrt(3)i) / 2 = - (d-a-b) / (b+c-1) と仮定すると, 左辺は虚数, a, b, c, d: 整数より右辺は有理数となり, これは

不合理. よって b+c-1 = 0 であり, f((1 + sqrt(3)i) / 2) = 0 となり d - a - b = 0.

したがって c = 1 - b, d = a + b. ... (答)

(2) 7x + 1 = 11y + 10 ... ① は, 7(x-6) = 11(y-3) と変形できるので, 7と11は互いに素であることから ① を満たす整数 x, y は

x = 11k + 6, y = 7k + 3 (k: 整数) と表せる.

したがって, 7で割り切ると1余り, 11で割り切ると10余る整数は 43 + 77k (k: 整数) と表せる. 同様にして

7で割り切ると3余り, 11で割り切ると10余る整数は 10 + 77l (l: 整数) と表せる.

(1) より, f(x) = (x^2 - x + 1) { x^2 + (a+1)x + a+b } であるから, 条件より

{ f(1) = 43 + 77k, f(-1) = 10 + 77l } に対して { 2a + b + 2 = 43 + 77k ... ②, 3b = 10 + 77l ... ③

|b| ≤ 40 であり |3b| ≤ 120 であり, ③ および 3b は 77 の倍数であることから l = 1 に限られ, したがって b = 29.

また, ② より 2a = 12 + 77k ... ②'

|a| ≤ 40 であり |2a| ≤ 80 であり, ②' および 2a は 77 の倍数であることから k = 0 に限られ, したがって a = 6.

以上より, a = 6, b = 29, c = -28, d = 35 であり, これは整数であるという条件を満たす.

f(x) = (x^2 - x + 1)(x^2 + 7x + 35) であるから

方程式 f(x) = 0 の解は

x = (1 ± sqrt(3)i) / 2, (-7 ± 9i) / 2 ... (答)

採点用ボックス

(1) 採点

(2) 採点

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

解答はこの線より上の部分に書いてはいけません。

(3) (50点) 四面体OABCにおいて、辺OAの中点と辺BCの中点を通る直線をℓ、……

(3)の採点

--	--

(1) $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$, $\vec{OC} = \vec{c}$ とおく

辺OA, BC, OB, CA, OC, ABの中点EとM, N, I, J, K, L, M, N とする

ℓ ⊥ ℓm より $\vec{IJ} \perp \vec{KL}$ である $\vec{IJ} \cdot \vec{KL} = 0$

$$\left(\frac{\vec{b} + \vec{c}}{2} - \frac{\vec{a}}{2}\right) \cdot \left(\frac{\vec{c} + \vec{a}}{2} - \frac{\vec{b}}{2}\right) = 0$$

$$|\vec{c}|^2 - |\vec{a} - \vec{b}|^2 = 0 \text{ より } |\vec{c}| = |\vec{a} - \vec{b}| = \sqrt{5}$$

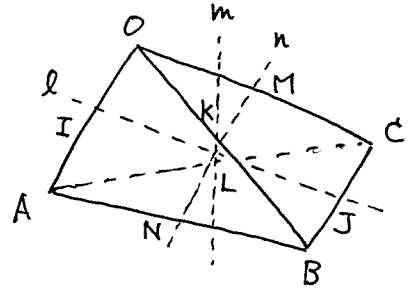
同様にして, $|\vec{a}| = |\vec{b} - \vec{c}| = \sqrt{3}$, $|\vec{b}| = |\vec{c} - \vec{a}| = 2$

$$\text{ゆえに } \vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{|\vec{a}|^2 + |\vec{b}|^2 - |\vec{a} - \vec{b}|^2}{2} = 1,$$

$$\vec{b} \cdot \vec{c} = \frac{|\vec{b}|^2 + |\vec{c}|^2 - |\vec{b} - \vec{c}|^2}{2} = 3, \vec{c} \cdot \vec{a} = \frac{|\vec{c}|^2 + |\vec{a}|^2 - |\vec{a} - \vec{c}|^2}{2} = 2$$

\vec{OB} と \vec{CA} のなす角 θ ($0 \leq \theta \leq \pi$) とおく

$$\cos \theta = \frac{\vec{OB} \cdot \vec{CA}}{|\vec{OB}| |\vec{CA}|} = \frac{\vec{b} \cdot (\vec{a} - \vec{c})}{2 \cdot 2} = -\frac{1}{2} \text{ より } \theta = \frac{2}{3}\pi \text{ であり } \phi = \pi - \theta = \frac{\pi}{3} \dots (\text{答})$$



(2) $\vec{IL} = \frac{\vec{c} + \vec{a}}{2} - \frac{\vec{a}}{2} = \frac{\vec{c}}{2}$, $\vec{KJ} = \frac{\vec{b} + \vec{c}}{2} - \frac{\vec{b}}{2} = \frac{\vec{c}}{2}$ であるから,

$\vec{IL} = \vec{KJ}$ より 四角形ILJKは平行四辺形である。

ゆえに対角線IJ, KLは互いに中点で交わり

同様にして対角線IJ, MNも互いに中点で交わり、その交点をPと置く

次に、 $\triangle OAP$ を考える

$$\vec{a} \cdot \vec{IJ} = \vec{a} \cdot \left(\frac{\vec{b} + \vec{c}}{2} - \frac{\vec{a}}{2}\right) = \frac{1}{2} (\vec{a} \cdot \vec{b} + \vec{a} \cdot \vec{c} - |\vec{a}|^2) = 0 \text{ より}$$

$\vec{a} \perp \vec{IJ}$ であるから $OA \perp PI$ であるから、 $\triangle OAP$ は $OP = AP$ の二等辺三角形である

同様にして、 $\triangle OBP$ を考えると、 $OP = BP$ 、 $\triangle OCP$ を考えると $OP = CP$

ゆえに $OP = AP = BP = CP$ であるから Pは四面体OABCの4つの頂点

を通る球の中心である。 $\vec{OP} = \frac{1}{2} (\vec{OI} + \vec{OJ}) = \frac{1}{4} (\vec{a} + \vec{b} + \vec{c})$ である

から、球の半径は $|\vec{OP}| = \frac{1}{4} \sqrt{|\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}|^2}$

$$= \frac{1}{4} \sqrt{|\vec{a}|^2 + |\vec{b}|^2 + |\vec{c}|^2 + 2(\vec{a} \cdot \vec{b} + \vec{b} \cdot \vec{c} + \vec{c} \cdot \vec{a})}$$

$$= \frac{\sqrt{6}}{2} \dots (\text{答})$$

(1) 採点

--

(2) 採点

--

解答はこの線より上の部分に書いてはいけません。

(4) (50点) 4個のサイコロを同時に投げるとき, 出る目すべての積を X とする。……

(4) の採点

--	--

(1) 余事象を用いて考える。

X が 5 の倍数ではない値になる確率は $(\frac{5}{6})^4$

X が 5 の倍数だが 25 の倍数ではない値になる確率は $4C_1 \cdot \frac{1}{6} \cdot (\frac{5}{6})^3$

よって, X が 25 の倍数になる確率は

$$1 - \frac{5^4 + 4 \cdot 5^3}{6^4} = \frac{19}{144} \quad \dots (\text{答})$$

(2) 余事象を用いて考える。

サイコロの目を次の A, B, C に分けると,

$$A = \{1, 3, 5\}, \quad B = \{2, 6\}, \quad C = \{4\}$$

X が奇数になるのは A の値が 4 個出るときなので, その確率は $(\frac{3}{6})^4$

X が偶数だが 4 の倍数ではない値になるのは A の値が 3 個と B の値が 1 個出るときなので, その確率は $4C_3 \cdot (\frac{3}{6})^3 \cdot \frac{2}{6}$

よって, X が 4 の倍数になる確率は

$$1 - \frac{3^4 + 4 \cdot 3^3 \cdot 2}{6^4} = \frac{37}{48} \quad \dots (\text{答})$$

(3) 2つのサイコロの目の積が 4 の倍数だが 5 の倍数ではない値になる

確率は, 右図を参考にすると, $\frac{13}{6^2}$

よって, 5 の目が 2 個だけ出て X が 100 の倍数になる確率は

$$4C_2 \cdot (\frac{1}{6})^2 \cdot \frac{13}{6^2} = \frac{78}{6^4}$$

また, 5 の目が 3 個だけ出て X が

100 の倍数になるのは残り 1 個が 4 の目のときなので, その確率は

$$4C_3 \cdot (\frac{1}{6})^3 \cdot \frac{1}{6} = \frac{4}{6^4}$$

以上より, X が 100 の倍数になる確率は

$$\frac{78 + 4}{6^4} = \frac{41}{648} \quad \dots (\text{答})$$

	1	2	3	4	5	6
1				○		
2		○		○		○
3				○		
4	○	○	○	○		○
5						
6		○		○		○

(1) 採点

--

(2) 採点

--

(3) 採点

--

解答はこの線より上の部分に書いてはいけません。

(5) (50点) 座標空間において、中心(0, 2, 0)、半径1でxy平面内にある円をDとする。……

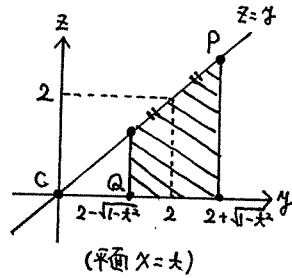
(5)の採点

--	--

$$T: \begin{cases} x^2 + (y-2)^2 \leq 1 \\ 0 \leq z \leq 3 \\ z \leq y \end{cases}$$

(1) Tを平面 $x=t$ ($-1 \leq t \leq 1$) で切、たときの断面は、

$$\begin{cases} t^2 + (y-2)^2 \leq 1 \\ 0 \leq z \leq y \end{cases} \quad \text{すなわち} \quad \begin{cases} 2 - \sqrt{1-t^2} \leq y \leq 2 + \sqrt{1-t^2} \\ 0 \leq z \leq y \end{cases}$$



$$\begin{aligned} \text{よって, } S(t) &= 2 \left\{ (2 + \sqrt{1-t^2}) - (2 - \sqrt{1-t^2}) \right\} \\ &= 4\sqrt{1-t^2} \quad \dots (\text{答}) \end{aligned}$$

Tの体積を V_1 とすると、

$$V_1 = \int_{-1}^1 4\sqrt{1-t^2} dt = 4 \times \left(\text{斜線部の面積} \right) = 4 \cdot \frac{\pi}{2} = 2\pi \quad \dots (\text{答})$$

(2) Tをx軸のまわりに1回転させてできる立体をUとする。

$C(t, 0, 0)$, $P(t, 2 + \sqrt{1-t^2}, 2 + \sqrt{1-t^2})$, $Q(t, 2 - \sqrt{1-t^2}, 0)$ とおと、

Uを平面 $x=t$ ($-1 \leq t \leq 1$) で切、たときの断面面積は、

$$\begin{aligned} \pi(CP^2 - CQ^2) &= \pi \left\{ 2(2 + \sqrt{1-t^2})^2 - (2 - \sqrt{1-t^2})^2 \right\} \\ &= \pi(5 - t^2 + 12\sqrt{1-t^2}) \end{aligned}$$

よって、Uの体積を V_2 とすると、

$$\begin{aligned} V_2 &= \int_{-1}^1 \pi(5 - t^2 + 12\sqrt{1-t^2}) dt \\ &= \pi \left\{ \left[5t - \frac{1}{3}t^3 \right]_{-1}^1 + 12 \cdot \frac{\pi}{2} \right\} \\ &= \frac{28}{3}\pi + 6\pi^2 \quad \dots (\text{答}) \end{aligned}$$

(1) 採点

(2) 採点